

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」 新船橋校

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|---|---|----|-----------|-----|---|
| ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | | | 法令に順守しており、1時間に3名までの受け入れでブースが3つつかりと分けられています。 |
| ② | 職員の配置数は適切であるか | 3 | 2 | | 法令順守し、指導員の加配体制が整えられています。（法令で必要とされる配置数+1名） 同じ指導員が続くこともなく、緊急時に関しても必ず誰かが居るのは安心できます。 |
| ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 2 | 2 | 1 | 小柄なお子さん用に台等がありますが、玄関の段差はバリアフリーの配慮が出来ていない為車いすの使用は難しいです。保護者からの指摘事項に対して可能な範囲で対応していきます。 |
| ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 2 | 2 | 1 | 定期的な会議を行い振り返ることで、適切な目標を設定することが出来ています。 |
| ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 1 | | 年に一度実施する保護者からの事業所評価をもとに、頂いたご意見に対し事業所内で話し合い、出来るところから改善に向けて努めています。 |
| ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | 1 | 評価の集計結果をホームページに掲載すると同時に、支援スペースにもファイリングしたものを用意し、保護者がいつでも閲覧できるようにしています。 |
| ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 4 | 1 | | 書式を伴うしっかりとしたものは行っていませんが、今年度より療育支援課による巡回訪問にて保育士資格を有する方からのご意見を頂戴し、今後のサービス提供の改善へと繋げていきたいと思えます。 |
| ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | | | 自教室による事業所内研修、他教室との連携による事例検討会、発達支援研究所によるウェビナー研修など定期的実施しています。 県・市主催の研修に参加することで個々のスキルアップ、校舎の支援の質の向上に努めています。 |
| ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | 日々のFBの中で保護者と話すことによってアセスメントはその都度行っているが記録として保管は出来ていません。 アセスメント（課題を分析するために情報収集を行うこと）、モニタリング（サービスの提供が開始された後に行う現状把握）、それぞれの意味を理解し取り組んでいく必要があります。 |
| ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 2 | 2 | 1 | 聞き取って終わりということが多い為、標準化ツールを利用し定期的に取り組むことが望ましく、対応については職員全員で勉強・確認をする必要があります。 |
| ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | | 1 | 基本的には一人一人がプログラムを考えていますが、指導員間でしっかりと情報を共有し、支えながら日々支援を行っています。 |
| ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | | | 同じ指導員が続くことが無いよう調整した上で、以前の支援記録を確認し継続支援の下実施しているプログラム以外は内容が被らないよう配慮しています。 |
| ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 3 | 2 | | 保護者と口頭で確認したりはしますが、細かく設定はしていません。 |

| | | | | | |
|---|--|---|---|---|--|
| | | | | | 休日はきりりひろば（小集団対応）、長期休暇は宿題プログラムなどを取り入れています。 |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 1 | | 個別支援に特化しており集団活動の機会を必ず確保できるわけではない為組み合わせた立案は行っておりませんが、保護者の希望に含まれることもある為、時間等を工夫して小集団の時間を設けることもあります。 |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | 2 | | 毎朝朝礼を行い、前日の引継ぎや当日の注意点、シフト調整などスタッフ全員で共有しています。 |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5 | | | 当日、もしくは翌日に引継ぎや保護者の話、気になったこと、変化などについてスタッフ全員で共有しています。 |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | | 支援記録は出来る限り当日のうちに記入することとし、日々の支援の記録から指導員同士で改善点等を共有しています。 |
| ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | 利用児童に対し少なくとも半年に一度は計画の見直しを行う為、毎週モニタリングの時間を確保し支援方針の見直し・振り返りを行っています。 |
| ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 3 | 2 | | 支援計画に則って支援を行っていますが、主に日常生活の充実につながる活動（発達に応じて必要となる基本的な生活動作）と遊びなどの活動を通しての成功体験の積み重ねに配慮しています。 |
| ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 1 | 4 | | 相談員からの呼びかけに対し、管理者・実際に支援を行っている指導員が参加しています。 |
| ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 1 | 2 | 2 | 学校の先生と直接話をする機会は少ないですが、学校でのやり方を保護者経由で情報共有することで同じやり方・ペースで支援を行っています。 |
| ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 2 | 2 | 医療職スタッフがない為、医療的ケアが必要な児童の受け入れに際しては、主治医等の意見書を確認した上で慎重に判断し対応いたします。 |
| ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 1 | 3 | 1 | 保護者を通して保育園幼稚園の先生との情報交換等はしていますが、連携・情報共有までは至っていない為、必要に応じて行えることが望ましいと思います。 |
| ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 1 | 2 | 2 | そのようなケースが少ない為行えていませんが、今後同様なケースに対し支援内容の引継ぎなど対応していくことが望ましいと思います。 |
| ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 1 | 3 | 1 | 保護者を通して児童発達支援センターと連携することもあります。専門機関との連携・助言・研修などの機会を多く設けていきたいと思ひます。 |
| ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 1 | 4 | 地域交流については、限られた支援時間の中で実施が難しいことから、外部イベントへの積極的な参加は見送っています。時期に応じて内部＋外部向けイベントの開催も今後検討していきたいと思ひます。 |
| ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | 3 | 1 | 参加できることが望ましいと思ひますので、継続的に参加ができるよう体制を整えていきたいと思ひます。定期的に情報収集を行っています。 |

| | | | | | |
|----|---|---|---|---|--|
| 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | 支援後のFBの時間に、支援の様子や最近のお子さんの様子を話し、保護者との情報共有を行っています。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | 2 | 3 | FB時に困りごとを聞くなどはしていますが、保護者への家族支援プログラムは行えていません。どのようにプログラムを進めていくのか研修・学びの機会（会社全体としての取り組み）を探し、スキルアップに繋げていきたいと思っています。 |
| 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | | 面談や契約時に管理者が丁寧に伝えています。また、フリースペースに資料集を閲覧できるよう設置しています。 |
| 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | | | FB時に最近困っていることなどを伺い相談に応じています。研修に参加するなどし、知識を高めより良い助言や支援が出来ればと思います。 |
| 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 2 | 3 | 現時点では保護者向けの会などを開催することは出来ていません。小集団イベントなどの際、保護者スペースを確保し交流の場として提供していけたらと思います。 |
| 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | | | 要望に対して、まずは傾聴し迅速に取り組めるものから順次取り掛かり対応しています。今後さらに周知していき、より良い信頼関係が築いていければと思います。 |
| 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 2 | 2 | 1 | ホームページの校舎ブログは月1で更新し校舎のイベント情報などを発信しています。LINEでの発信も行っております。 |
| 35 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | | 個人情報に記載されているものに関しては鍵付きのロッカーに保管しています。書類などに関しては他利用者の目に触れないよう配慮しています。 |
| 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | | 目線を合わせる、口元を見せる、紙に書く等、お子さんの状態に合わせて配慮しています。 |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 3 | | 2 | 地域に開かれた事業運営は行えていませんが、開校時には外部向け体験会を実施しました。継続的に近隣地域とも繋がれると良いと思いますが難しいと感じます。 |
| 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 5 | | | マニュアルを研修や毎月の防災訓練で確認し、発生を想定した訓練を実施しています。保護者向けにフリースペースにマニュアル関連資料を設置していますが、今後は掲示物などで意識を向けて頂くことが必要だと思います。 |
| 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | | | 定期的にスタッフだけでなく、お子さん保護者を交えた防災避難訓練を計画、実際に避難先まで移動することで危険箇所を把握し、災害時を想定した引き渡し訓練を実施しています。 |
| 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | | マニュアルを策定しスタッフ間で情報共有しています。事業所内外で虐待についての研修を受ける機会を設けています。 |
| 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 2 | | 身体拘束についての情報共有は出来ていますが、支援計画内に拘束に関する記載は盛り込まれていません。虐待に関する考え方が厳しくなっている現在、しっかりと理解をした上で対応することが求められていると感じます。 |
| 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 2 | 1 | 2 | 食べ物の提供は行っていませんが、食べ物に限らずアレルギー全般に関しても一覧表で管理しています。 |

| | | | | |
|----|----------------------------|---|--|---|
| ④③ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | | ヒヤリハットが起きる度に報告書を作成し、事業所内で改善点を話し合い情報共有しています。自校舎だけでなく他校舎の事例も同様にファイリングし、危機管理意識を高めています。 |
|----|----------------------------|---|--|---|

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新船橋校

保護者等数（児童数）：28 回収数：22

割合：78.5%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|----------|----------------|--|----|-----------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 22 | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 20 | 2 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 5 | 10 | 玄関の段差に関しては、今後スロープの設置などを検討していきたい。 |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 22 | | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 20 | 22 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 6 | 15 | コロナウイルスの感染拡大の様子を見て、必要や要望によって行っていけたらと思います |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 22 | | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 22 | | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 20 | 2 | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 2 | 7 | 13 | きらり広場などを開催する際、保護者席を設け、交流を行ってもらえるように配慮していきたい。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 20 | 2 | | 困っていることを相談する際、いくつかの対応を提案して頂いて助かっている。 → 今後もご期待に応えられるよう努力してまいります。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 22 | | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 20 | 2 | | LINEを活用するようになり、活動の様子などを写真でも確認して頂けるようになりました。 → 今後も、きらり広場の様子などをLINEにて送らせていけたらと思います。 |
| ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 22 | | | | |

| | | | | | | |
|---------|---|---|----|----|--|--|
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 20 | 22 | | コロナウイルスの感染拡大が落ち着いてきたら、利用者様との防災訓練を再開したいと思います。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 21 | 1 | | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 22 | | | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 22 | | | たくさんの楽しい企画、安心して通えています。確実なレベルアップに感謝しています。 → 今後も様々な企画を提案できたらと思います。 |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。